第4種 大津漁港
（北海道豊頃町）

大津地域マリンビジョン策定（モデル地域）

大津（おおつ）地区特定漁港漁場整備事業計画

十勝圏域
流通拠点

現状と課題

・野天で陸揚げ作業等を行っており、鳥糞等の混入や降雨及び直射日光等の影響による品質低下など衛生管理上の課題がある。
・耐震・耐津波性能が確保された岸壁等がなく、大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止する懸念がある。
・津波による漁船転覆・沈没による操業休止や背後住宅地への流出による2次災害の発生が懸念されている。

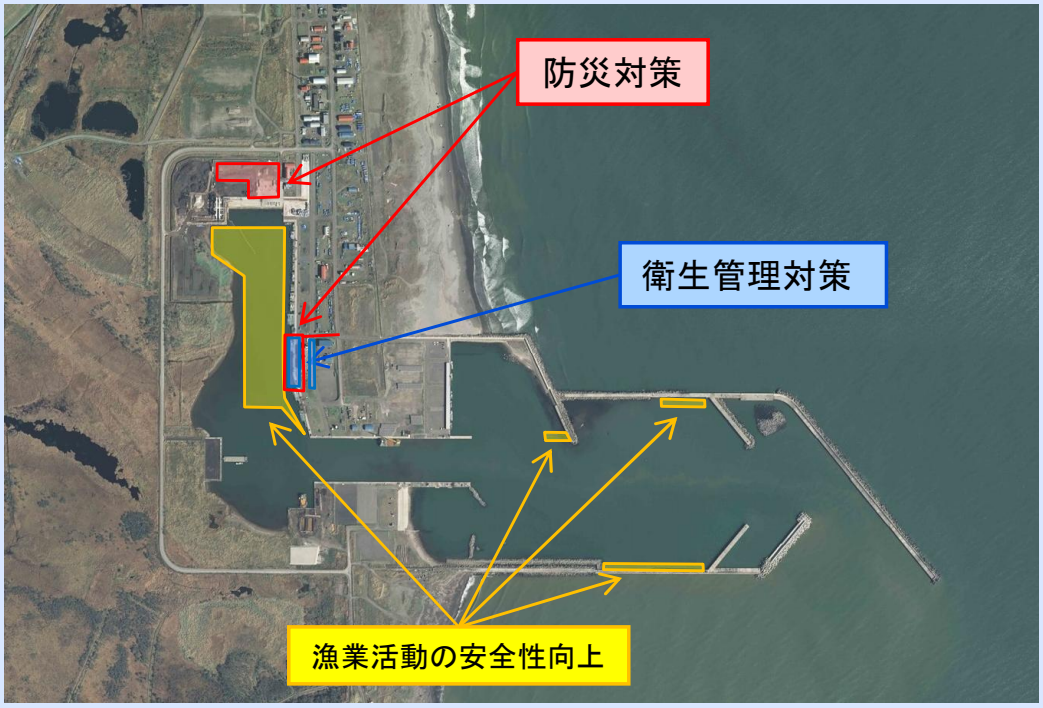
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：63隻
利用漁船：101隻
（内、外来漁船：38隻）
属地陸揚量：664トン
属地陸揚金額：5．1億円
主な魚種：サケ類、ホッキガイ
組合員数：56人

◎大津漁港の役割

・サケ定置網、小型底びき網等の沿岸漁業の流通拠点
・周辺海域で操業する漁船の避難拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・サケ等の衛生的な陸揚げ環境を確保し、国内外への水産物供給力強化を図るため、屋根付き岸壁の整備を行う。
・大規模災害発生後の水産業の早期再開のため、耐震・耐津波性能を強化した岸壁を整備するとともに、岸壁に接続する道路の液状化対策を行う。
・津波による漁船の浸水・流出被害を防止するため、漁船保管施設用地の嵩上げを行う。
・港内静穏度の向上のため、突堤の新設及び防波堤港内側に消波工の設置を行う。

基本事項

全体事業費：44．8億円
事業期間：H30～R9

主要な対策①：衛生管理対策

主要な対策②：防災対策